

日本共産党 青森市政だより

発行 日本共産党青森市議団
〒030-0822 青森市中央1-22-5 市議会日本共産党控室

連絡先

市議会日本共産党控室 ☎ 017-734-1111
(内線) 6017
直通・FAX 兼用 ☎ 017-722-8904
メールアドレス kyousant@grace.ocn.ne.jp
日本共産党東青地区委員会 ☎ 017-777-7241

ご意見・ご相談をお気軽にお寄せ下さい。

議会報告



わさび

小野寺市長 アウガ・市役所・青森駅一体として進める 先々の見通しを欠いたまま

青森市議会3月定例会議会は、アウガへ市役所機能を移転させ、市役所は3階建て程度に圧縮し、青森駅に自由通路を建設するという小野寺市長の提案を賛成多数で可決しました。

小野寺市長は、アウガ、市役所、青森駅を一体として進めるとしていますが、先々の見通しを欠いたままの計画となっています。また、小野寺市長は、アウガが経営破たんし、17億5千万円の債権放棄することになったことで組織の姿勢を示すとして、職員給与の削減を労組に相談もせず議会に提案するという乱暴なやり方で職員の不満と不安を煽りました。

アウガの商業施設は3月末で閉店となりまし
た。青森駅前再開発株式会社は、特別清算の手続きに入ります。アウガの1階から4階までの商業施設が撤退したフロアに市役所の窓口機能を入れるため改修工事費、情報システム関連経費、引越し関連経費合わせて約4億6千万円かかるとしています。このほか地権者の不動産を市が購入するための約9億6千万円が可決されました。

市役所は3階建程度に圧縮して建設するとして設計業務を委託する約5千万円が計上されました。青森駅周辺整備事業は設計業務委託で約6億7千万円かけるとしています。アウガに市役所が移転すれば交通渋滞が激しくなることが心配されますが、市は想定しているとして否定せず、警察と協議をしないと述べています。また3月議会では複数の議員からトイレが足りない、多目的トイレの設置を求める質問がありましたが、明確な答弁がありませんでした。

アウガに市役所 新たなムダ遣い生む

青森駅周辺整備事業には自由通路建設と駅舎建設のほかに「都市サービス施設」を建設する事業が含まれます。人が集まる市の公共的なサービス施設になると市は説明していますが、当初アウガの1、4階に導入する施設と競合するとして都市サービス施設の中味については先送りしてしま

た。しかしアウガに市役所機能を入れれば、それらを受け入れる施設として浮上することになります。駅舎を撤去したJRの土地に新たに建物をたてることとなります。新たに多額の税金が投入されることになることは重大です。

アウガ問題特別委員会

多くの不正疑惑が提起

青森市議会は3月29日、31日の両日「アウガ問題に関する調査特別委員会」を開き、アウガを経営する第3セクター・青森駅前開発ビル会社を巡り噴出した複数の不正疑惑について審議を行いました。日本共産党から藤原浩平、山脇智両市議員が質問しました。

審議を通し、アウガ地下1階の新規テナント増設工事の見積りに記載されていたスプリンクラ移設工事が消防火法に基づく届け出がなかったことが明らかにされました。

また、中村美津緒市議員（新政会）の調査・確認により、国と市の補助事業「青森食街道」改修工

の土地に新たに建物をたてることとなります。新たに多額の税金が投入されることになることは重大です。

青森市議会は、全委員の賛成を得て審査継続を決めました。



補助金が使われた青森食街道
(アウガ地下)

時 潮

「市政停滞」の言葉が舞った市長選から4か月。小野寺市長の振舞から「なるほどこれが『市政停滞』か」と思うようになりました。▼例えば岡田橋。青森北高や沖館小中の生徒が通う危険な橋です。安全に通行できるように歩道を作る事業がやっと始まったのに、小野寺市長は予算削減。文字通り「停滞」してしまいました▼合葬墓や平和大使は1円も予算がつかず「削除」という事態に。それだけではなく、男女共同参画基本条例の策定に向けた報告書の提出に待ったをかける。市民要求に冷たい姿勢が際立っています。▼

小野寺市長の政治姿勢がよくわかる答弁もありました。「市庁舎建設に際して、市民意見を聞くべきだ」と求めた山脇市議員に対して、「それは議員の職務を放棄した意見だ」と答弁したのです。

▼議員が「市は、市民の意見を聞くように」と求めることは当然です。市民の意見を聞くことを軽視する市長が、市政を前に進めることは絶対にできません。



館田るみ子

家庭では洋式トイレが当たり前時代に、学校のトイレはいまだに和式トイレが主流です。家庭の洋式トイレ保有率が89・6％であることを考えれば学校トイレの洋式化が遅れていることがよくわかります。小学校に入学して初めて和式便器を見たために、使い方が判らずトイレを我慢する児童が続出し、中には前後逆に座る児童もいたという報告もあります。館田市議は「小中学校のすべてのトイレに洋式便器を整備すべき」と教育委員会の考えを質しました。答弁に立った石澤教育部長は「改築時に洋式便器とすることを基本に、老朽化によりトイレ全体の改修が必要となった場合



傷みが激しい学校のトイレ

や便器が使用出来なくなった場合に洋式便器に改修し、トイレの洋式化を進めている」と答弁。学校のトイレ研究会が全国の校長先生に対して行った調査では、学校で改善が必要な場所の一位はトイレでした。館田市議は「トイレの老朽化が進んでいる学校は結構あると聞いている。当分校舎の新築は望めないという学校の場合はどうなのか」と聞きましたが「トイレの要望もあるが他にもさまざま。な営繕要望があるので優先度を見極めながら判断していきたい」との答弁でした。館田市議は「災害時に地域の避難所になる屋内運動場が和式だけのトイレでは、高齢者や障がい

全小中学校のトイレに洋式便器整備を

者がつらい思いをするようになる。屋内運動場と近くの一階のトイレから洋式便器に変える必要がある」と学校を避難所に指定している市長部局に答弁を求めました。答弁に立った鈴木総務部長は「市有の施設・設備を活用するというスタンスだ」との答弁を繰り返しました。

「洋式トイレがない屋内運動場は、小学校が29校、中学校が9校です。少なくとも男女別に一器あるべき。避難所の環境を整えるのは市の責務。大規模災害への対応のひとつとして、避難所のトイレの洋式化に正面から取り組むよう求めました。

館田市議は「トイレの老朽化が進んでいる学校は結構あると聞いている。当分校舎の新築は望めないという学校の場合はどうなのか」と聞きましたが「トイレの要望もあるが他にもさまざま。な営繕要望があるので優先度を見極めながら判断していきたい」との答弁でした。館田市議は「災害時に地域の避難所になる屋内運動場が和式だけのトイレでは、高齢者や障がい



村川みどり

就学援助〔入学準備金〕3月支給の実施を

国では、子どもの貧困問題が深刻になる中、2014年「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を制定し、同年8月には「子どもの貧困対策に対する大綱」を策定。大綱では「国として就学援助の実施状況等を定期的に調査し、公表すると共に「就学援助ポータルサイト」を整備するなど、就学援助の適切な運用、きめ細かな広報等の取り組みを促し、各市町村における就学援助の活用・充実を図ること」と述べています。この流れの中、文科省では「児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給できるように十分配慮するように」と「通知」を出しました。「特に」と強調されています。石澤幸造教育部長は「就学援助の根拠法令である学校教育法19条において、経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童又は生徒の保護者に対し、市町村は必要

な援助を与えなければならない」と規定されており、入学後の在籍児童を対象にしている」と答弁しました。村川市議は、全国ではどのように実施しているのか独自に調査した結果では、多くの自治体で要綱や規則を、「入学予定者」などに改正して対応している実態を示し、その自治体独自で対応でき、違法ではないことを明らかにしました。こうした実態を示したものの、市教委は同じ答弁を繰り返して、入学準備がで



山脇さとし

山脇市議は一般質問で、アウガへの市役所窓口の移転、新庁舎の規模圧縮について、市民の意見を聞くよう求めました。山脇市議は「非公開の有識者会議と、有識者が選んだ市民のワークショップだけでは、広範な市民の意見を聞くことはできない」と指摘。そのうえで「平成26年に策定された青森市役所整備基本計画（現在地に市役所機能を集約し、新庁舎を整備）は、広報あ

サー」、「市役所庁舎のあり方に関するワークショップ」、各種市民団体との意見交換、「パブリックコメント」など、多くの市民の意見を反映させながら策定されてきた。これを大幅に計画変更するのだから同様に市民意見を聴取するべきだ」と求めました。小野寺市長は、間接民主主義の原則を述べたうえで「市民の声を聞け」とする小野寺市政は、あまりにも歪んでいるのではないでしようか。

の負託は得ており、市民の聴取は必要ないという態度を示しました。山脇市議は「間接民主主義をおこなうためにも市民の声を聞くことは当然のこと、議会が市民意見は集約されているから、市は市民の声を聞かなくてはならない」と指摘しました。市民意見の広聴もせず新庁舎の建設を進めようとする小野寺市政は、あまりにも歪んでいるのではないでしようか。



藤原浩平

藤原浩平市議は、南スーダンから自衛隊を撤退させることを求めて質問しました。「戦闘は起きていない」。安倍政権は、南スーダンの情勢についてこう繰り返して説明してきました。しかし、南スーダンでの自衛隊活動を記録した「日報」が「戦闘」の様子を生々しく記している

南スーダンから自衛隊の撤退を

しい戦闘が発生」宿营地から200メートルしか離れていないビルを戦車が攻撃し始めました。これだけ緊迫した「報告」が現場から上がっているのに当時の中谷防衛大臣は会見で「散発的な発砲事案」と説明。（昨年7月12日）安倍首相は「戦闘行為ではなかった」と国会で答弁（10月11日）

戦闘が起きているのなら自衛隊参加の土台が崩れていることになりま

は「7日午後8時南スーダン政府軍と当時副大統領だったマシャール氏の勢力との間で銃撃戦が発生。約15分間30発以上の発砲音」などと報告。10日には自衛隊宿营地の目の前

で危険にさらされているのに国民にはウソの説明を繰り返していたのです。この次期、国会では、南スーダンの自衛隊に戦争法に基づく「駆けつけ警護」などの新任務を付与することが大問題になっていました。

青森駐屯地からも約130人が派兵されています。殺し、殺されることが現実のものにならないうちに帰還させなければなりません。南スーダンから自衛隊を撤退させるよう国に要請していただきたいと答弁を求めました。市長は答弁に立たず、総務部長は「国に要請するつもりはない」と答え

会派の態度

共↓共産党、自清↓自民清風会、新政↓新政無所属の会、社↓社民党、市ク↓市民クラブ、公↓公明党、自民↓自由民主党、無↓無所属（○↓賛成、×↓反対）

条例・意見書		共					
青森市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について		可決	×	○	×	○	無
青森市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について		可決	×	○	×	○	無
青森市特別職の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		可決	×	○	×	○	無
農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書		可決	○	×	○	×	○

小野寺市長予算委員会出席せず

藤原市議は一般質問で、小野寺市長が予算委員会に出席しないとしたことにに対し「予算委員会に出席するべきだ」と質問しました。小野寺市長は「これまで副市長が不在だったため」予算委員会には出席して

会からは副市長が決まり、また「自分の方針や指示のもと、理事者がそれぞれ役割を果たしていた」ことから、予算委員会には出席をしないことを表明しました。しかし予算委員会は、市の予算について審議する重要な場であり前

鹿内市長は、全ての定例会で予算委員会に出席を求めています。元佐々木市長に関しては、任期途中から、予算委員会に出席をしないことが過去の慣習です。しかし、元佐々木市長が予算委員会に出席をしなかったのは、市長は

忙しいだろうからと、事前に議会からの要請があったという経緯があります。藤原市議は質問の最後に「議会軽視もはなはだし。市長として議員の話は聞くのも、大事な仕事ではないか」と強く指摘しました。



天内しんや

子どもたちに教員の目が届く環境の充実を

本市における小中学校の33人学級の進捗状況については国が定める基準と、県による少人数学級編制の実施により、小学校第1学年から第4学年及び、中学校第1学年は33人学級編制になっており、残るは小学校第5・6学年及び、中学校第2・3学年が40人学級になっている状況です。教育委員会のこれまでの議会答弁では「学校教育が抱えている問題として、いじめや複雑な問題があり、それらに対しては、何といたっても教員の目が子どもたちに届きやすい環境づくり、一人一人の状況を的確に把握できる学級の規模が大事で

あり、その規模は33人学級が望ましいので、国や県に強く要望をし、実施が見込まれない場合は、市単独での実施の可能性についても検討してまいりたい」と答えてきました。天内慎也市議は、予算特別委員会で「本市において実際にいじめによる自殺事件があったことを重く受けとめて、教育環境の充実施策として、33人学級を拡充するべきでないか」と教育長の見解を求めました。成田一二三教育長は「これまでの認識と同様に、細やかな学習指導や生徒指導が効果的に進められると認識している

が、仮に小学校第5学年だけを33人学級にした場合、7千万の経費がかかることや、残りの学年を全部拡充した場合は、2億4千万の経費かかることから、引き続き国や県に対して要望していく」と答えました。

「いじめ防止対策法」ができるきっかけとなった大津市では、2億円以上の経費をかけて、臨床心理士や専門家を雇用したことや、55の全小中学校に、いじめ対策に専念する教員を配置しました。天内市議は「いのちを守る環境整備に、いまこそ踏み込むべきでないか」と強く求めました。

アウガへの窓口移転 市民の声を聞け

小野寺 市長

市民のための予算 次々と削減

合葬墓

小野寺市長 予算1円も計上せず

お墓を持つことが出来ずに遺骨を抱えた人や代々からのお墓を継承することが難しくなったという理由で、生前に申し込みが可能な合葬墓を作ってほしいと言う声が寄せられ、30年度の供用開始を目指して合葬墓整備事業が昨年スタートしました。

28年度は、地質調査と設計を実施し、29年度は工事着手する予定になっていたのに、一円も合葬墓の予算がついていませんでした。

市民意識調査で3割の市民「利用したい」

館田市議は「多額の経費がかかることは、初めから分かっていたこと。昨年、1612万5000円の予算が計上され、地質調査と設計業務委託をしたのは、市がおこなった調査で3割の人が利用したいと答えたこと、



千葉市桜木霊園合葬墓

市民要望が強いこと。お墓をとりまく環境が大きく変わり、放置・返還された墓地进行して、墓地の再提供事業をおこなっているが、その際に埋葬されていた遺骨の改葬先として、市としても合葬墓が必要だと答弁してきたこと」「先進地の調査などをおこない、部内で十分検討してきた結果、昨年スタートさせた事業だった」と述べ「ここまで進めてきた事業をどうしてストップかけるのか」と小野寺市長に迫りましたが、小野寺市長は答弁に立ちませんでした。

岡田橋 歩道橋設置

予備設計に ストップ



通勤・通学時の岡田橋

自転車通学の北高生や沖館小・中学校に通う児童・生徒が朝夕利用している岡田橋は、ドライバートとつても接触事故が起きないかいつもハラハラして通る危険な橋です。館田議員はじめ、多くの議員が岡田橋の歩道を確保するよう求めて質問してきました。

26年の12月議会で、ようやく「岡田橋に歩道を設置することは構造上困難だから、新たに歩道橋を整備しなければならぬ」と答弁があり、27年の3月議会で「地質調査を行ない地盤の固さや深さを把握する必要がある」「予備設計をおこない最適な橋梁形式を選定す

る必要がある」と明らかにし、28年度予算に540万円が計上され、岡田橋橋梁整備事業が新規事業として動き出しました。

14年間に6人 計19回質問

昨年、地質調査のためのボーリングを終え、29年度は予備設計に進むことになっていました。ところが、29年度予算は昨年の半分以上の258万円より計上されています。館田市議は「この程度の金額で、予備設計が委託できるのか」と質問しました。

答弁に立った八戸都市整備部理事は「設計委託費は1000万円位かかる」と答弁がありました。館田市議が「なぜ、予算計上しなかったのか」とただしましたが、小野寺市長は答弁にたたず、財務部長らに答弁させるという姿勢に終始しました。

空港道路

小野寺市長 「特に意見ない」 10年間料金徴収延長認める

青森空港有料道路について、青森県は、今年7月で終了する予定だった料金の徴収を、さらに10年間先延ばしする方針を決めました。

青森市では2009年度から、県に対し有料道路の無料化を要望し、議会でも青森空港有料道路無料化の早期実現を求める決議を全会一致で可決してきた、経緯があります。

天内市議は予算委員会

で「市は県に対し、有料道路の無料化について要望をしたのか」と質問しましたが、都市整備部長は「県から説明があったさい、市長からは、料金徴収期間の延長について、特に意見は出されなかった」と答弁しました。

これまで前鹿内市長、元佐々木市長と、県に対し青森空港有料道路の無料化を求めてきたにもかかわらず、小野寺市長は

10年間もの料金徴収の延長に対して、何の意見も述べていなかったことが明らかにになりました。

そもそも料金徴収期間を延長しなければならなくなつた理由は、利用者が少なく、銀行からの借入金を全額償還できなかったためです。しかし同道路は迂回するルートもあり、利用者は多くありません。

県は10年間の料金徴収延長について「意見はない」とした小野寺市長はもつと市民の声に耳を傾けるべきではないでしょ